

院内処方・院外処方のこと わたなべ整形外科院長ブログ

2019年（令和元年）10月1日、消費税が8%から10%に引き上げられました。

欧米先進国では当然の事として行われている、食料品をはじめとした生活必需品に対する軽減税率は実施されず、一家の大黒柱の給料は上がり、家計のやりくりは以前にも増して困難になって来ました。今回は、2011.5.15に私がまとめた「院内処方・院外処方とは」との関連で、皆さんにささやかな提言をしてみたいと思います。

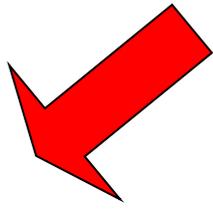
現在足利市には医療機関が104軒ありますが、この内80軒前後が院外処方を採用しています。また、市内には常勤の整形外科医がいる施設が7ヶ所ありますが、この内当院以外の6軒が院外処方です。**こんな中私が頑固に院内処方続ける理由は2つあります。**1つ目の理由は、移動が大変な患者さんに対する配慮です。診察が終了した後、外の薬局まで出かけて行くのは大変な事だと思います。特に天候の悪い日などは最悪です。2つ目は、患者さんの支払う治療費の額が3割も違う為です。全く同じ治療を受け、全く同じクスリをもらっても、院外処方を採用している医療機関を受診した患者さんの方が常に3割前後、支払い額は多くなります。この理由は厚労省が院外処方を採用する医療機関を増やす目的で利益誘導を行ない、また調剤薬局での処方に関する技術料を異常に高く設定した（あるいは院内薬局の技術料を異常に安く設定した？）為です。簡単に言うと、院外処方は経営的に医療機関の味方、院内処方は患者さんの味方です。「クスリを院内でもらえるし、窓口での負担は3割も安いのです。」

さて、皆さん御存知ないと思いますが医療非課税という法律の下、現在医療機関は薬問屋から、例えば公定価格100円のクスリを110円の消費税込みで仕入れ、患者さんには消費税抜きの100円でお渡ししています。消費税が10%になると院内処方を採用している医療機関は、クスリを処方する毎に10%の損失になるわけです。

薬価差益の全国平均が5~6%という厳しい状況となり、経営的には全くナンセンスな院内処方を維持する事の困難さを今年10月以降身にしみて感じていますが、こんな中、院長としては何とかやせ我慢をして「**すべては患者さんの為に！**」という事で、もう少しの間いい恰好させてもらおうかなと考えています。

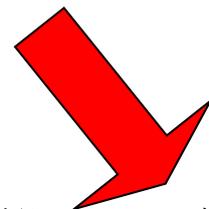
消費増税で家計のやりくりが大変な中、「わたなべ整形外科」に行けば、同じ治療を受けても3割前後窓口負担が少なくて済むという情報提供でした。 2020.4.1

1日3回 消炎鎮痛・筋弛緩剤・胃薬を14日分と湿布5パック処方



院外処方を採用している医療機関を受診した場合

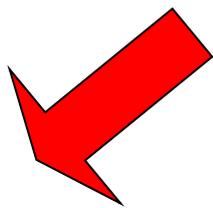
(医療機関)	
再診料	… 780円
外来管理加算	… 520円
処方せん料	… 680円
一般処方加算	… 50円
① 医療費小計 … 2030円	
(調剤薬局)	
調剤料	… 650円
調剤技術基本料	… 570円
薬剤服用歴管理指導料	… 430円
薬剤料	… 1830円
② 医療費小計 … 3480円	
①+②の医療費合計 5510円	
自己負担額	(1割の方… 550円 2割の方…1100円 3割の方…1650円
※ 但し、分包を希望した場合、一週間分につき320円、このケースでは640円加算が算定されます。	



院内処方を採用している医療機関を受診した場合

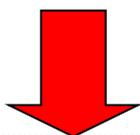
(医療機関)	
再診料	… 780円
外来管理加算	… 520円
処方料	… 420円
薬剤情報提供料	… 130円
調剤料	… 190円
調剤技術基本料	… 140円
薬剤料	… 1830円
医療費合計 4010円	
自己負担額	(1割の方… 400円 2割の方… 800円 3割の方…1200円

1日2回 痛風のお薬 30日分を処方



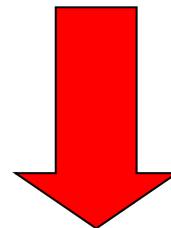
院外処方を採用している医療機関を受診した場合

(医療機関)	
再診料	… 780円
外来管理加算	… 520円
処方せん料	… 680円
一般処方加算	… 50円
① 医療費小計 … 2030円	
(調剤薬局)	
調剤料	… 770円
調剤技術基本料	… 570円
薬剤服用歴管理指導料	… 430円
薬剤料	… 1500円
② 医療費小計 … 3270円	
①+②の医療費合計 5300円	
自己負担額	(1割の方… 530円 2割の方…1060円 3割の方…1590円

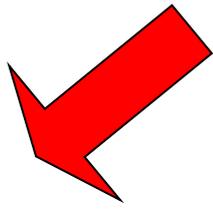


院内処方を採用している医療機関を受診した場合

(医療機関)	
再診料	… 780円
外来管理加算	… 520円
処方料	… 420円
薬剤情報提供料	… 130円
調剤料	… 100円
調剤技術基本料	… 140円
薬剤料	… 1500円
医療費合計 3600円	
自己負担額	(1割の方… 360円 2割の方…720円 3割の方…1080円

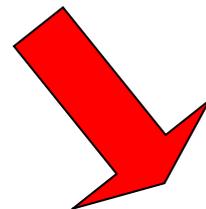
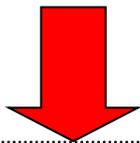


1日1回 血圧の薬を14日分処方



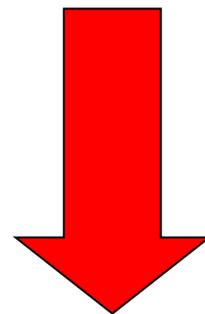
院外処方を採用している医療機関を受診した場合

(医療機関)	
再診料	… 780円
外来管理加算	… 520円
処方せん料	… 680円
特定疾患療養管理	… 2250円
特定疾患処方管理	… 180円
一般処方加算	… 50円
① 医療費小計 … 4460円	
(調剤薬局)	
調剤料	… 550円
調剤技術基本料	… 570円
薬剤服用歴管理指導料	… 430円
薬剤料	… 280円
② 医療費小計 … 1830円	
①+②の医療費合計 6290円	
自己負担額	(1割の方… 630円 2割の方…1260円 3割の方…1890円

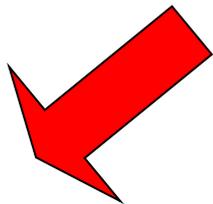


院内処方を採用している医療機関を受診した場合

(医療機関)	
再診料	… 780円
外来管理加算	… 520円
処方料	… 420円
薬剤情報提供料	… 130円
調剤料	… 110円
調剤技術基本料	… 140円
薬剤料	… 280円
医療費合計 4810円	
自己負担額	(1割の方… 480円 2割の方… 960円 3割の方…1440円



花粉症で錠剤 14 日分・漢方 14 日分・目薬を処方



院外処方を採用している医療機関を受診した場合

(医療機関)	
再診料	… 780 円
外来管理加算	… 520 円
処方せん料	… 680 円
一般処方加算	… 50 円
① 医療費小計 … 2030 円	
(調剤薬局)	
調剤料	… 1200 円
調剤技術基本料	… 570 円
薬剤服用歴管理指導料	… 430 円
薬剤料	… 2840 円
② 医療費小計 … 5040 円	

①+②の医療費合計 **7070 円**

自己負担額 ()

- 1 割の方… 710 円
- 2 割の方…1410 円
- 3 割の方…2120 円



院内処方を採用している医療機関を受診した場合

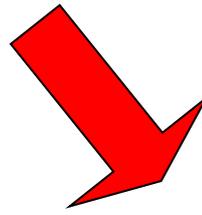
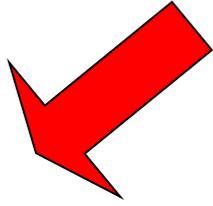
(医療機関)	
再診料	… 780 円
外来管理加算	… 520 円
処方料	… 420 円
薬剤情報提供料	… 130 円
調剤料	… 190 円
調剤技術基本料	… 140 円
薬剤料	… 2840 円

医療費合計 **5020 円**

自己負担額 ()

- 1 割の方… 500 円
- 2 割の方…1000 円
- 3 割の方…1510 円

湿布を5パック処方



院外処方 を採用している医療機関を受診した場合

院内処方 を採用している医療機関を受診した場合

(医療機関)	
再診料	… 780 円
外来管理加算	… 520 円
処方せん料	… 680 円
① 医療費小計 … 1980 円	
(調剤薬局)	
調剤料	… 100 円
調剤技術基本料	… 570 円
薬剤服用歴管理指導料	… 430 円
薬剤料	… 570 円
② 医療費小計 … 1670 円	
①+②の医療費合計 3650 円	
自己負担額	(1割の方… 370 円 2割の方… 730 円 3割の方…1100 円

(医療機関)	
再診料	… 780 円
外来管理加算	… 520 円
処方料	… 420 円
薬剤情報提供料	… 130 円
調剤料	… 80 円
調剤技術基本料	… 140 円
薬剤料	… 570 円
医療費合計 2640 円	
自己負担額	(1割の方…260 円 2割の方…530 円 3割の方…790 円